

平成31年度 教育振興に関する重点施策の推進について

愛媛県教育振興に関する大綱（平成31年度～4年間）（案） ～愛顔でつなぐ 学びの未来～

振 興 方 針

- 1 学校・家庭・地域が連携した教育の推進
- 2 安全・安心で充実した教育環境の整備
- 3 未来を拓く子どもたちの育成
- 4 特別支援教育の充実
- 5 人権・同和教育の推進と児童生徒の健全育成
- 6 生涯学習の推進とスポーツ・文化の振興

振興方針 1 学校・家庭・地域が連携した教育の推進

「地域学校協働活動」、「えひめ未来塾」、「放課後子ども教室」などによる学習及び体験活動等への支援や家庭教育支援の充実に取り組むなど、学校・家庭・地域社会等、地域の大人一人一人が、子どもたちの健やかな成長のために連携・協働していくことにより、社会総がかりで全ての子どもの健全育成を図る教育支援体制づくりを進める。

① 学校・家庭・地域連携推進事業費

※ 平成31年度当初予算事項名を記載（以下同じ）

振興方針 2 安全・安心で充実した教育環境の整備

生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、県立学校施設の長寿命化対策の計画的な推進に努めるとともに、県立高等学校及び中等教育学校の全普通教室に空調設備を整備するほか、30年度から3か年計画で県立学校、教職員住宅等の危険なコンクリートブロック塀を撤去し、安全なフェンス等を設置する。

また、県立学校教職員防災士の更なる養成に努めるとともに、実践的な防災教育・防災管理の推進、地域や関係機関との連携等による学校の総合的な防災力の強化を図るほか、高校生の自転車交通マナーの向上等に努める。

さらに、全県立学校にWi-Fi環境を一斉整備し、電子黒板を35年度までに計画的に整備する。

＜施設・設備整備＞

- ① 県立学校校舎等整備事業費
- ② ブロック塀緊急安全対策事業費《特別枠》
- ③ 県立高等学校・中等教育学校空調設備整備事業費《新規 特別枠》
- ④ えひめ丸大規模改修事業費《拡充》

＜人材育成・防災教育＞

- ① 県立学校教職員防災士養成等事業費《拡充 特別枠》
- ② 学校総合防災力強化推進事業費《特別枠》
- ③ 高校生自転車交通マナー向上対策事業費《特別枠》
- ④ 通学路安全推進事業費

＜ICT機器整備＞

- ① 県立学校ICT活用教育環境整備費《新規 特別枠》
- ② 産業教育ICT機器整備事業費《拡充》

振興方針3 未来を拓く子どもたちの育成

1 確かな学力を育てる教育の推進

(1) 教育の情報化

電子黒板機能付きプロジェクタやタブレット端末を活用した効果的な指導方法や教材の研究・開発に取り組む。

(2) 英語力の向上

小学校・中学校・高等学校教員の英語力や指導力の向上を図るとともに、中学生には英語力検証テストを、高校生には外部検定試験の活用を図る。

(3) 確かな学力の定着・向上

県独自の学力調査などにより検証改善システムを一層充実させるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に積極的に取り組む。

＜教育の情報化＞

- ① ICT教育推進事業費

＜英語力の向上＞

- ① えひめ英語力向上特別対策事業費《特別枠》
- ② 英語コミュニケーション能力ボトムアップ事業費
- ③ 外国語指導助手招致事業費

＜確かな学力の定着・向上＞

- ① 愛媛学びのシステム活用事業費《特別枠》
- ② 高等学校授業改善推進事業費《新規》

2 心豊かな人材の育成等

(1) 地域の未来を切り拓く、心豊かな人材の育成

高等学校の魅力ある学校づくりを通じ、企画力・実践力を備えた人材を養成するとともに、高校生が地域の課題を地域と連携して解決することなどを通して、地域の未来を切り拓く、心豊かな人材の育成を図るほか、次世代リーダーの育成やキャリア教育の充実に努める。

また、中学生段階における5日間の職場体験学習「えひめジョブチャレンジU-15事業」については、県内全公立中学校での実施に向けた取組を進める。

さらに、高校生がサイクリングを通じて学んだ地域の魅力を発信できるよう、人材育成を行う。

<地域連携>

- ① 地域に生き地域とともに歩む高校生育成事業費
- ② 地域連携心豊かな高校生育成事業費《新規》
- ③ 高校生キャリア教育推進事業費《新規》
- ④ 地域産業スペシャリスト育成事業費
- ⑤ えひめジョブチャレンジU-15事業費《拡充 特別枠》
- ⑥ 地域の魅力発信高校生サイクリング推進事業費《新規 特別枠》

<学校指定>

- ① スーパープロフェッショナルハイスクール推進事業費
- ② スーパーグローバルハイスクール推進事業費

<その他>

- ① 主権者・消費者教育推進事業費《新規》
- ② えひめ高校生次世代人材育成事業費

(2) 道徳教育・環境教育、体験活動の推進等

道徳教育・環境教育や多様な地域人材を活用した体験活動を推進するとともに、部活動においては経験豊かな指導者を活用し、競技力の向上及び教員の負担軽減を図る。

- ① 愛ある愛媛の道徳教育推進事業費
- ② 環境教育推進事業費
- ③ 「森林わくわく体験」推進事業費
- ④ 部活動指導員配置促進事業費《特別枠》

(3) 教職員の資質・能力の向上

研修内容及び研修機会の充実を図るとともに、ストレスチェック等メンタルヘルス対策による教職員の健康対策に取り組むほか、スクールサポートスタッフや県立学校の校務支援システムの効果的な活用により、教職員の業務負担の軽減につなげる。

- ① スクール・サポート・スタッフ配置事業費《拡充》
- ② 教職員業務改善モデル事業費《拡充》
- ③ 中堅教諭等資質向上研修費
- ④ 県立学校校務支援システム維持管理費
- ⑤ 教職員健康対策事業費

振興方針 4 特別支援教育の充実

児童生徒数の増加に伴う特別支援学校の新校舎整備や、特別支援教育に対する理解啓発と支援体制の整備に努めるとともに、特別支援学校のキャリア教育を充実するため、技能検定を実施し、生徒の就労支援の強化を図る。

また、特別支援学校の生徒と地域の高等学校の生徒がプロの劇団員の指導を受けて共に演劇を創り上げる経験を通じ、障がい者理解の促進を図る。

- ① みなら特別支援学校校舎整備事業費《新規 特別枠》
- ② キャリア教育・就労支援充実事業費
- ③ 特別支援学校文化芸術支援事業費
- ④ 特別支援教育教職員資質向上事業費《拡充》
- ⑤ 特別支援教育理解啓発・連携推進事業費《拡充》
- ⑥ 特別支援学校医療的ケア実施体制充実事業費

振興方針 5 人権・同和教育の推進と児童生徒の健全育成

人権・同和教育に係る研究大会や研究協議会、研修会などの開催を通じて、指導者養成や社会啓発の推進を図るとともに、児童生徒自らが考え実践する取組を進めるなど、互いの人権が尊重される社会づくりや、社会総ぐるみでのいじめの未然防止対策や解決に向けた取組の充実に努める。

- ① 人権・同和教育推進活動費
- ② いじめSTOP愛顔の子どもサポート事業費《特別枠》

振興方針6 生涯学習の推進とスポーツ・文化の振興

スポーツ・文化部の事業を含め、県民が生涯にわたり主体的に学習活動に取り組めるよう環境整備に努めるとともに、一層のスポーツ振興を図るため、国際大会で活躍する日本代表選手を目指すジュニアアスリートの発掘、育成や、競技力の向上への取組の充実に努める。

また、国及び県指定文化財所有者等が行う保存修理事業等に対し助成を行うことにより、文化財の適正な保存管理とその活用を図るとともに、文化財の災害対策強化に努める。

<スポーツ・文化部関連>

- ① 生涯学習拠点の運営（生涯学習センター、青少年ふれあいセンター、総合科学博物館、歴史文化博物館等）
- ② えひめ愛顔のジュニアアスリート発掘事業費《特別枠》

<教育委員会関連>

- ① 図書館の運営
- ② 文化財保存顕彰事業費補助金《拡充》
- ③ 文化財保護指導費《拡充》
- ④ 中高生競技力向上対策事業費《特別枠》

西日本豪雨災害復旧・復興対応

被災児童生徒に対する心のケアや学習支援をはじめ、就学が困難となった児童生徒等に対する就学支援、高校生等に対する奨学金の特例制度（返還免除）などの継続した支援に取り組む。

(1) 教育相談

被災児童生徒等へスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを派遣する。

(2) 就学支援

被災児童生徒のうち、経済的な理由により就学困難になった者に就学支援を行うとともに、市町が実施する就学援助事業に補助を行う。

(3) 教育活動支援員の配置

被災児童生徒の学習や進路対策に遅れを生じさせないため、学習サポート等を行う教育活動支援員を配置する。

(4) 学資金の貸与

被災により修学が困難となった高校生等を対象に学資金を貸与し、高等学校等の卒業を要件に、申請により返還を免除する。

- ① 災害復旧・復興対応教育相談事業費《特別枠》
- ② 災害復旧・復興対応被災児童生徒就学支援事業費《特別枠》
- ③ 災害復旧・復興対応学校教育活動支援員配置事業費《特別枠》
- ④ 奨学資金貸付金（被災特例枠）